1　生乳生産量と用途別処理量

(1)　生乳生産量

－　生乳の生産量は 4.2%減少　－

生乳の生産量は 729 万 8,933 ｔで、前年に比べ 31 万 8,540 ｔ（4.2%）減少した。

図１　生乳の生産量の推移（全国）

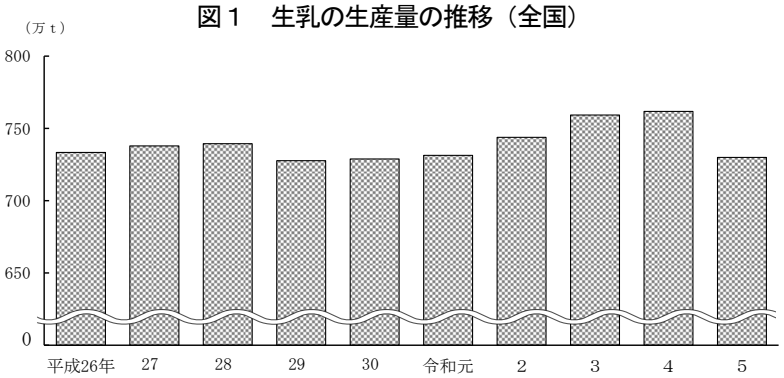
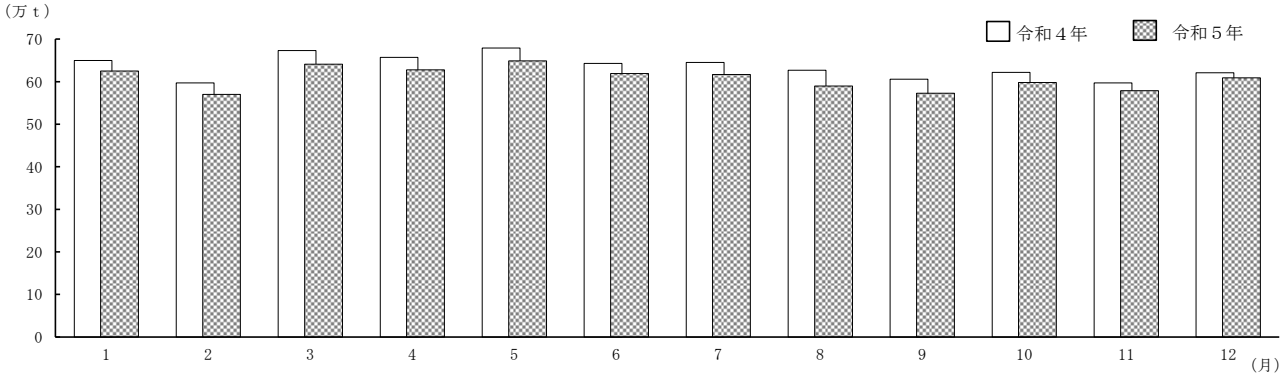


表１　生乳の生産量（全国、北海道・都府県別）

年　次	生乳生産量			対前年比		
	全国	北海道	都府県	全国	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
令和４年	7,617,473	4,309,275	3,308,198	100.3	101.0	99.5
5	7,298,933	4,146,981	3,151,952	95.8	96.2	95.3

図２　生乳の生産量の推移（全国）（月別）

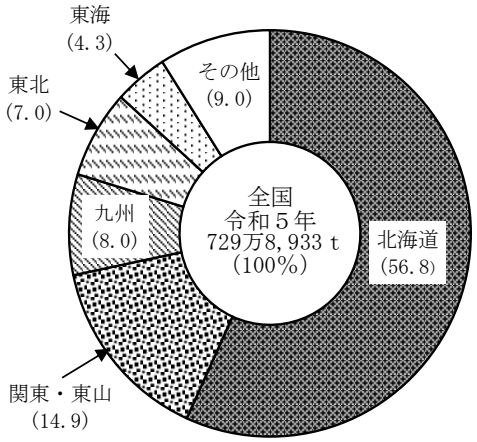


(2)　全国農業地域別生乳生産量

－　北海道の生乳生産量シェアは 56.8%　－

生乳の生産量を全国農業地域別にみると、北海道が 414 万 6,981 ｔ（全国に占める割合 56.8%）で最も多く、次いで関東・東山が 108 万 9,625 ｔ（同 14.9%）、九州が 58 万 2,039 ｔ（8.0%）の順となっている。

図３　生乳生産量シェア（全国農業地域別）



注：　割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表２　生乳の生産量（全国農業地域別）

単位：ｔ

年 次	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和４年	7,617,473	4,309,275	543,160	74,553	1,135,716	326,154	159,840	317,274	112,289	617,496	21,716
5	7,298,933	4,146,981	510,631	69,313	1,089,625	312,639	151,388	307,311	108,995	582,039	20,011
対前年比（%）	95.8	96.2	94.0	93.0	95.9	95.9	94.7	96.9	97.1	94.3	92.1

⑶　用途別処理量

－　牛乳等向けは3.2%減少、乳製品向けは5.3%減少　－

生乳の処理量を用途別にみると、牛乳等向け処理量は 385 万 302ｔで、前年に比べ 12 万 6,355ｔ（3.2%）減少し、乳製品向け処理量は340万2,222ｔで、前年に比べ19万1,986ｔ（5.3%）減少した。

図４　牛乳等向け及び乳製品向け処理量の推移（全国）

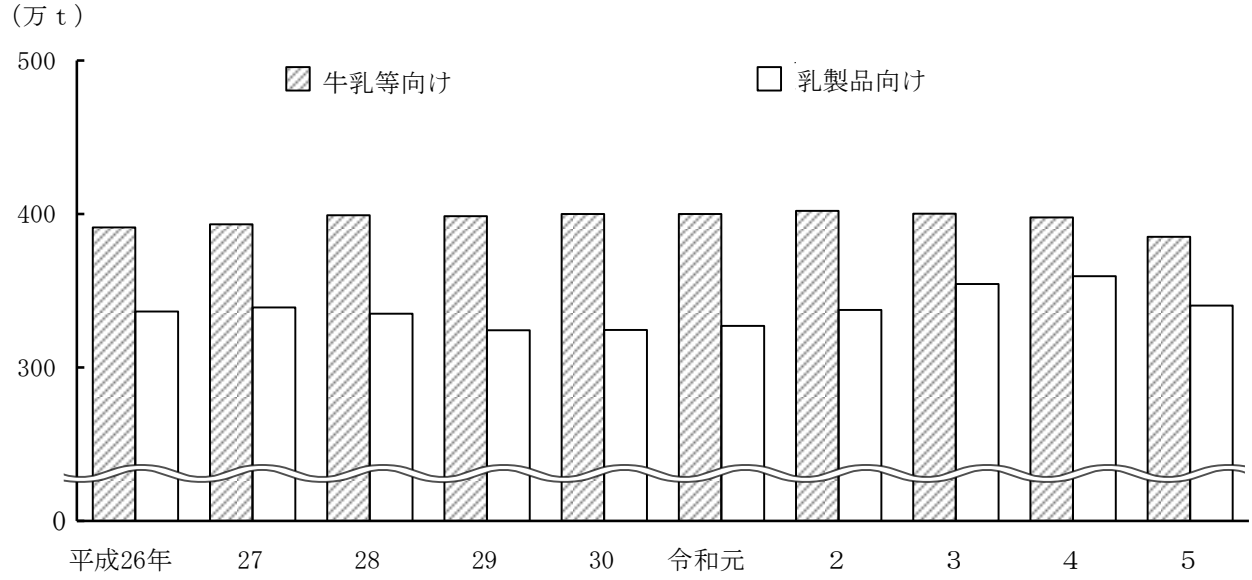


表３　生乳の用途別処理量（全国）

単位：ｔ

年　次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	チーズ向け	その他
令和４年	7,617,473	3,976,657	321,627	3,594,208	469,543	46,608
5	7,298,933	3,850,302	297,439	3,402,222	450,609	46,409
対前年比（%）	95.8	96.8	92.5	94.7	96.0	99.6

2　牛乳等生産量

(1)　飲用牛乳等生産量

－　牛乳の生産量は 2.9%減少　－

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳の生産量は 308 万 6,762kl で、前年に比べ 9 万 961kl（2.9%）減少し、加工乳・成分調整牛乳の生産量は 38 万 1,638kl で、前年に比べ 4,310kl（1.1%）減少した。

図５　牛乳及び加工乳・成分調整牛乳の生産量の推移（全国）

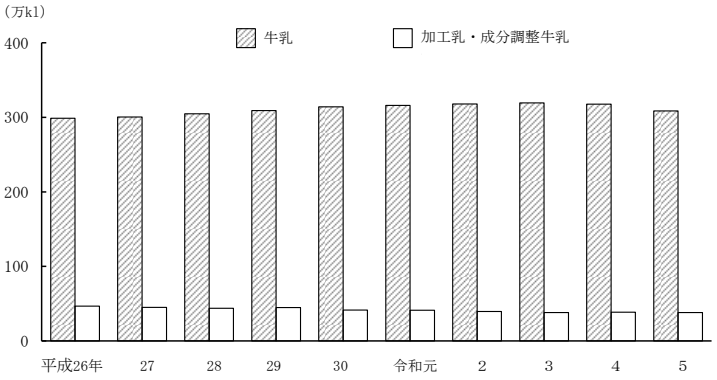
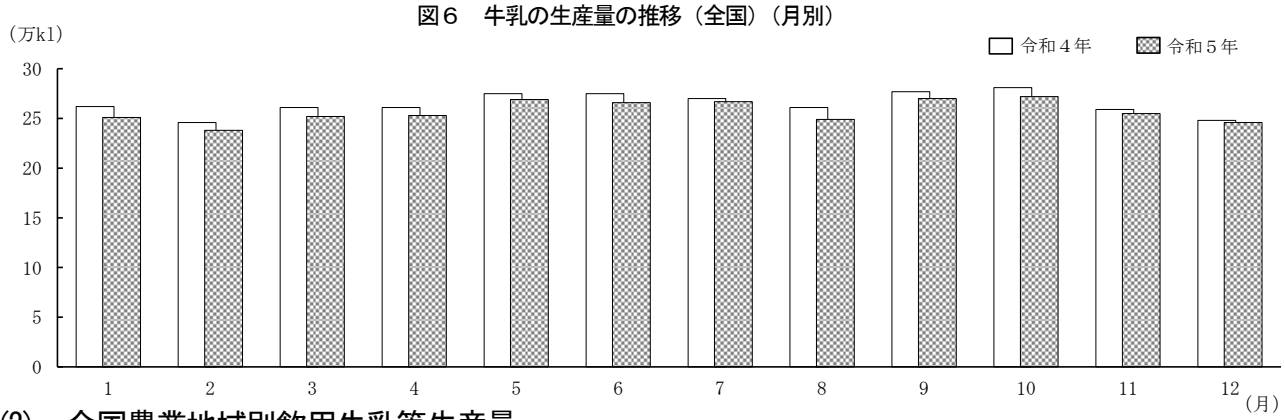


表４　飲用牛乳等の生産量（全国）

単位：kl

年　次	飲用牛乳等					
	計	牛乳		加工乳・成分調整牛乳		
			業務用		業務用	成分調整牛乳
令和４年	3,563,671	3,177,723	296,990	385,948	61,961	255,222
5	3,468,400	3,086,762	273,851	381,638	70,709	237,636
対前年比（%）	97.3	97.1	92.2	98.9	114.1	93.1

図６　牛乳の生産量の推移（全国）（月別）



(2)　全国農業地域別飲用牛乳等生産量

－　関東・東山の飲用牛乳等生産量シェアは 34.2%　－

飲用牛乳等の生産量を全国農業地域別にみると、関東・東山が 118 万 6,167kl（全国に占める割合 34.2%）で最も多く、次いで北海道が 54 万 6,078kl（同 15.7%）、九州が 38 万 655kl（同 11.0%）の順となっている。

図７　飲用牛乳等生産量シェア（全国農業地域別）

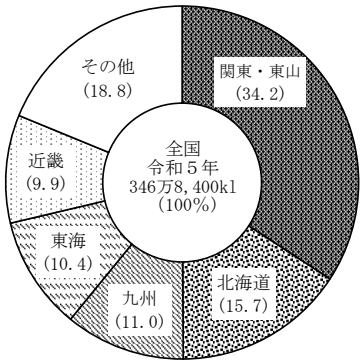


表５　飲用牛乳等生産量（全国農業地域別）

単位：kl

年　次	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和４年	3,563,671	574,523	219,912	75,361	1,195,248	372,146	365,709	257,114	90,630	390,709	22,319
5	3,468,400	546,078	213,374	73,751	1,186,167	359,353	343,983	258,018	87,079	380,655	19,942
対前年比（%）	97.3	95.0	97.0	97.9	99.2	96.6	94.1	100.4	96.1	97.4	89.3

⑶　乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量
ー　はっ酵乳の生産量は 6.3%減少　ー

乳飲料の生産量は 106 万 8,946kl、はっ酵乳の生産量は 99 万 5,523kl、乳酸菌飲料の生産量は 9 万 7,402kl で、前年に比べそれぞれ 8,455kl（0.8%）、6 万 7,264kl（6.3%）、8,507kl（8.0%）減少した。

図８　乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移（全国）

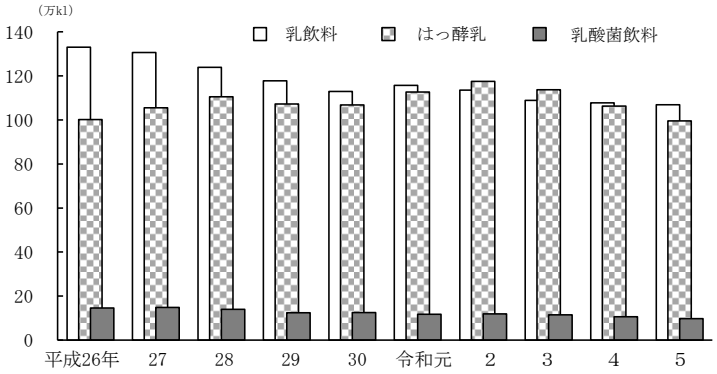


表６　乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料の生産量（全国）

単位：kl

年　次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
令和４年	1,077,401	1,062,787	105,909
5	1,068,946	995,523	97,402
対前年比（%）	99.2	93.7	92.0

図９　乳飲料の生産量の推移（全国）（月別）

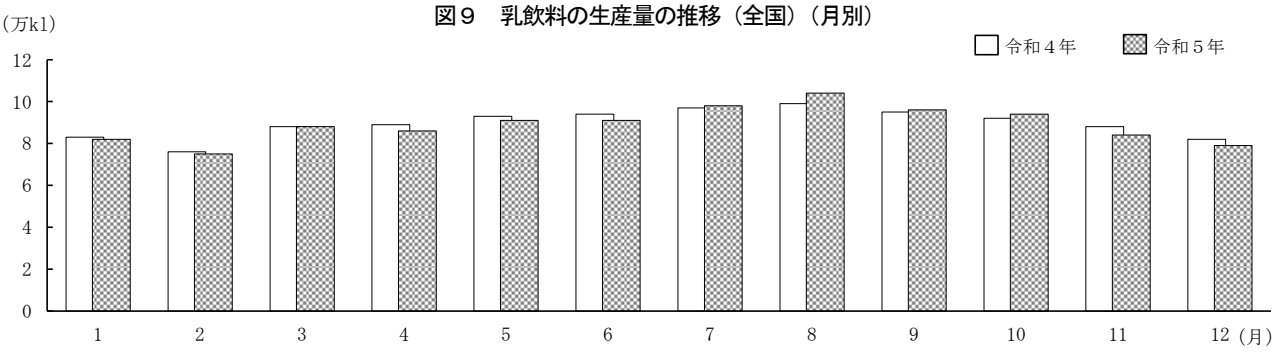


図 10　はっ酵乳の生産量の推移（全国）（月別）

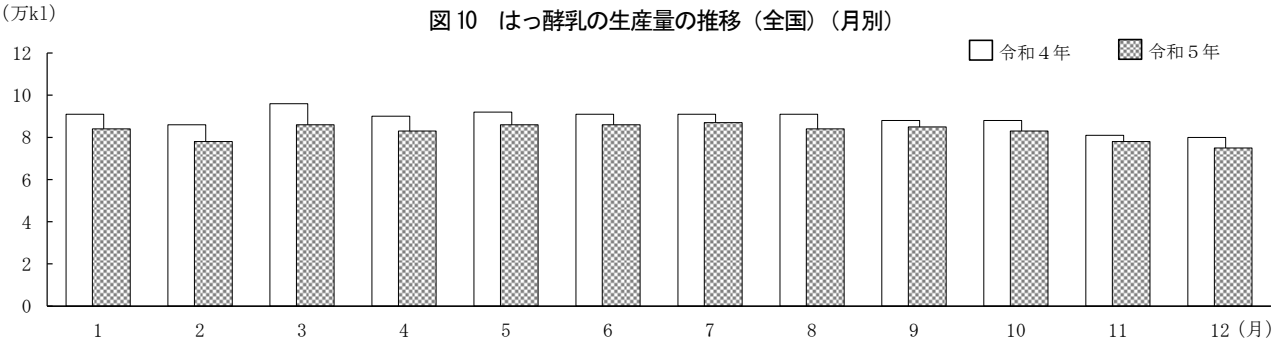
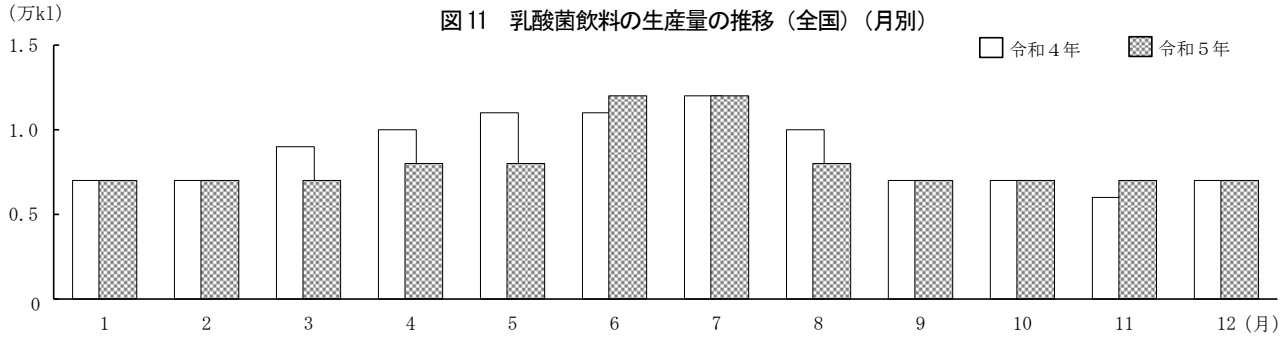


図 11　乳酸菌飲料の生産量の推移（全国）（月別）

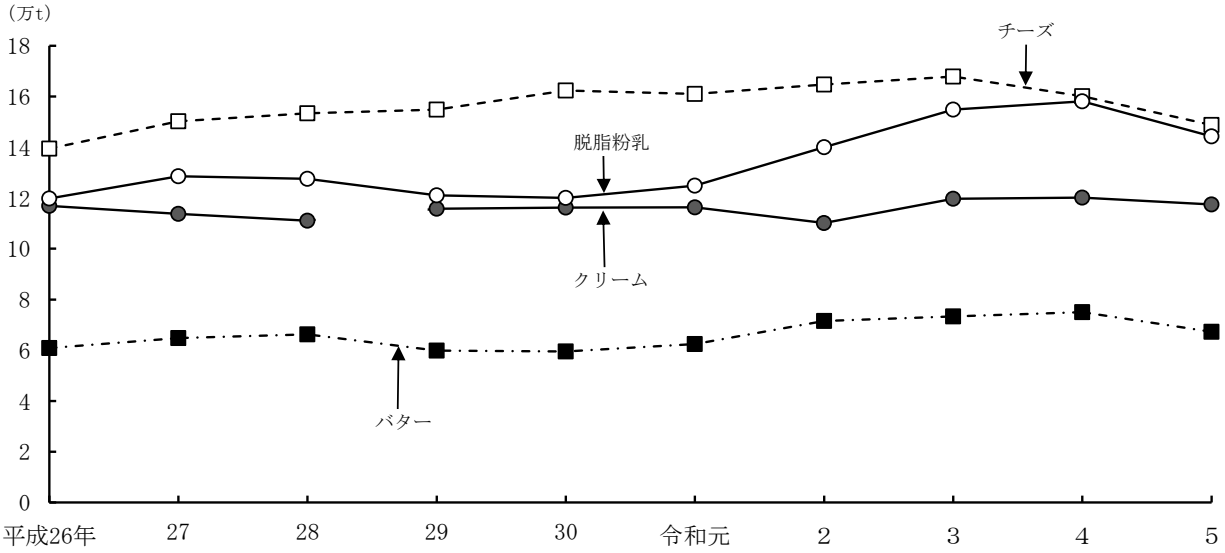


3　乳製品生産量

－　チーズの生産量は 7.1%減少　－

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は 14 万 4,284ｔ、バターは 6 万 7,337ｔ、クリームは 11 万 7,379ｔ、チーズは 14 万 8,808ｔで、前年に比べそれぞれ 1 万 3,816ｔ（8.7%）、7,709ｔ（10.3%）、2,725ｔ（2.3%）、1 万 1,310ｔ（7.1%）減少した。

図 12　主要乳製品の生産量の推移（全国）



注：平成 29 年 1 月調査から調査定義を変更したため、平成 28 年と平成 29 年のクリームの生産量は連続していない。

表 7　乳製品の生産量（全国）

年 次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	ホエイパウダー	バター	クリーム
	t	t	t	t	t	t
令和４年	10,022	158,100	30,603	18,978	75,046	120,104
5	10,515	144,284	31,809	17,807	67,337	117,379
対前年比 (%)	104.9	91.3	103.9	93.8	89.7	97.7

年 次	チーズ	直接消費用ナチュラルチーズ	プロセスチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	乳脂肪分８%以上のアイスクリーム
	t	t	t	t	t	t	kl
令和４年	160,118	35,091	125,027	31,113	321	3,221	141,634
5	148,808	33,785	115,023	30,186	420	3,235	134,517
対前年比 (%)	92.9	96.3	92.0	97.0	130.8	100.4	95.0

図 13　脱脂粉乳の生産量の推移（全国）（月別）

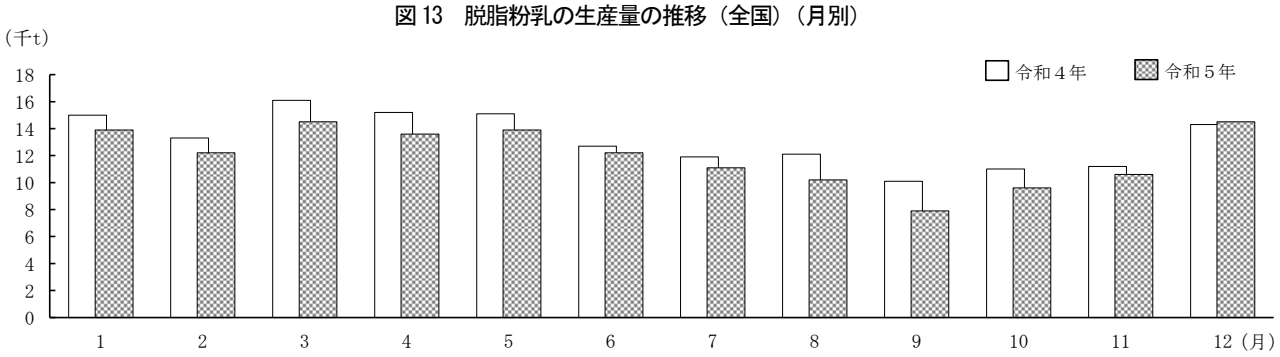


図 14　バターの生産量の推移（全国）（月別）

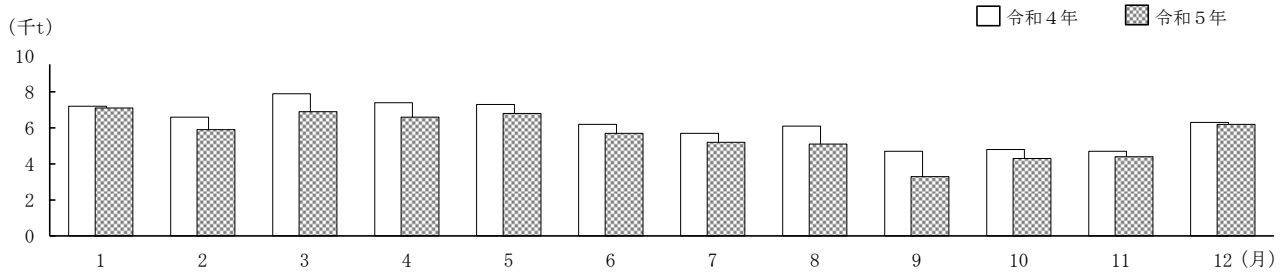


図 15　クリームの生産量の推移（全国）（月別）

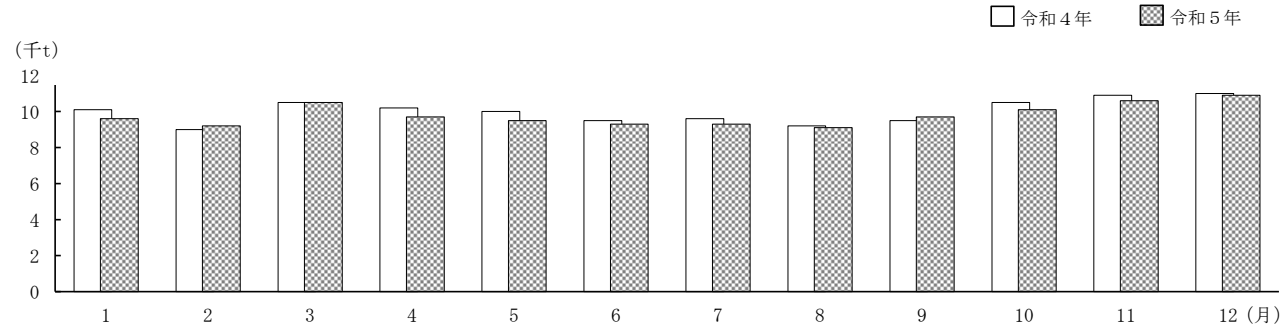
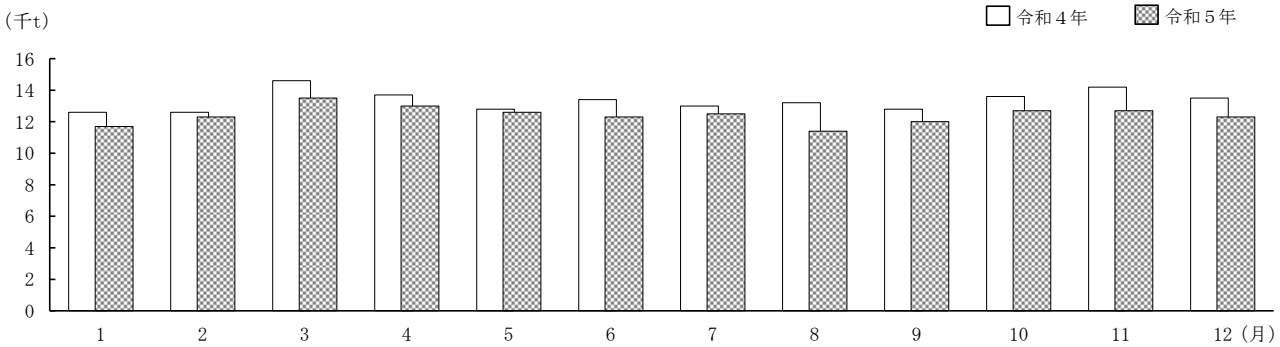


図 16　チーズの生産量の推移（全国）（月別）



4　牛乳処理場及び乳製品工場数

(1)　処理場・工場数

－　牛乳処理場・乳製品工場数は 542 工場　－

令和５年 12 月 31 日現在の牛乳処理場・乳製品工場（以下「工場」という。）数は 542 工場で、前年に比べ３工場減少した。

内訳をみると、牛乳処理場が 332 工場で、前年に比べ 13 工場減少し、乳製品工場が 151 工場で、７工場増加した。

また、生乳処理量規模別にみると、１日当たり２ｔ以上の工場数は、牛乳処理場が 182 工場で、前年に比べ１工場減少し、乳製品工場が 38 工場で前年に比べ１工場減少した。

図 17　生乳処理量規模別工場数の推移
（全国）（12 月 31 日現在）

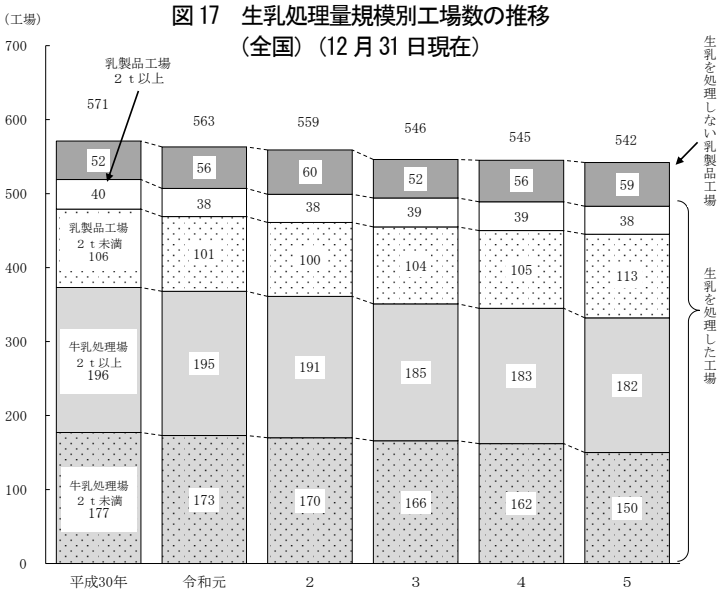


表８　生乳処理量規模別工場数（全国）（12 月 31 日現在）

単位：工場

年　次	合計	生乳を処理した工場							生乳を処理しない乳製品工場
		計	牛乳処理場			乳製品工場			
			小計	２ｔ未満	２ｔ以上	小計	２ｔ未満	２ｔ以上	
令和４年	545	489	345	162	183	144	105	39	56
5	542	483	332	150	182	151	113	38	59
対前年差	△ 3	△ 6	△ 13	△ 12	△ 1	7	8	△ 1	3

注：１　生乳処理量規模別は、12 月における１日当たりの生乳の平均処理量を基に区分した。
　　２　本統計表では、生乳を処理した工場の分類として、生乳を主として牛乳等の生産に仕向けた工場を「牛乳処理場」、主として乳製品の生産に仕向けた工場を「乳製品工場」としている。

(2)　全国農業地域別工場数

－　関東・東山の工場シェアは 26.6%　－

全国農業地域別の工場数をみると、関東・東山が 144 工場（全国に占める割合 26.6%）で最も多く、次いで北海道が 123 工場（同 22.7%）、九州が 54 工場（同 10.0%）の順となっている。

図 18　全国農業地域別工場シェア
（12 月 31 日現在）

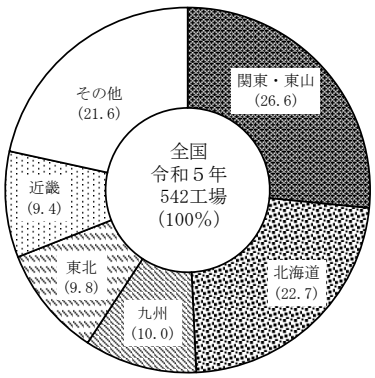


表９　全国農業地域別工場数（12 月 31 日現在）

単位：工場

年　次	全国	北海道	東北	北陸	関東・東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
令和４年	545	124	55	26	142	50	51	28	9	51	9
5	542	123	53	25	144	49	51	26	9	54	8
対前年差	△ 3	△ 1	△ 2	△ 1	2	△ 1	0	△ 2	0	3	△ 1

⑶　製造品目別処理場・工場数

－　牛乳を製造した工場は 329 工場　－

飲用牛乳等を製造した令和５年 12 月 31 日現在の工場数は 330 工場で、このうち牛乳を製造した工場数は 329 工場であった。

また、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場数は 82 工場であり、乳飲料、はっ酵乳、乳酸菌飲料を製造した工場数は、それぞれ 191 工場、259 工場、33 工場であった。

乳製品を製造した工場数は 334 工場で、このうちチーズを製造した工場数は 194 工場、乳脂肪分８％以上のアイスクリームを製造した工場数は 120 工場であった。

表 10　牛乳等を製造した工場数（全国）（12 月 31 日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
	計（実数）	牛乳（実数）	業務用	学校給食用	加工乳・成分調整牛乳（実数）	業務用	成分調整牛乳			
令和４年	341	340	160	185	89	13	55	191	261	39
5	330	329	154	182	82	16	53	191	259	33
対前年差	△ 11	△ 11	△ 6	△ 3	△ 7	3	△ 2	0	△ 2	△ 6

注：1　「計（実数）」は飲用牛乳等を製造した実工場数であり、計と内訳（牛乳（実数）及び加工乳・成分調整牛乳（実数））は一致しない。
2　「牛乳（実数）」は牛乳を製造した実工場数であり、計と内訳（業務用及び学校給食用）は一致しない。
3　「加工乳・成分調整牛乳（実数）」は加工乳・成分調整牛乳を製造した実工場数であり、計と内訳（業務用及び成分調整牛乳）は一致しない。

表 11　乳製品を製造した工場数（全国）（12 月 31 日現在）

単位：工場

年次	乳製品													
	計（実数）	粉乳			ホエイパウダー	バター	クリーム	チーズ（実数）			れん乳			乳脂肪分８％以上のアイスクリーム
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳					直接消費用ナチュラルチーズ	プロセスチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	
令和４年	334	7	25	5	5	77	73	191	172	23	22	2	10	122
5	334	7	26	5	5	76	71	194	175	23	19	2	10	120
対前年差	0	0	1	0	0	△ 1	△ 2	3	3	0	△ 3	0	0	△ 2

注：1　「計（実数）」は乳製品を製造した実工場数であり、計と内訳（各乳製品の工場数）は一致しない。
2　「チーズ（実数）」はチーズを製造した実工場数であり、計と内訳（直接消費用ナチュラルチーズ及びプロセスチーズの工場数）は一致しない。